

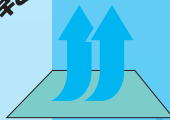
いろいろな基材にOK!



既存塗膜の塗り替えに!



乾燥が速い!



安全です!



幅広い基材に付着する水性プライマー

フロアトップアquaプライマー ハエレオ

Floortop Aqua Primer
"Haereo"

ATOM/x

作業中に
塗り替えたい

基材が
わからない

水性で速乾の
プライマーが
ほしい

全工程を安全性の
高い製品で施工したい

お客様のこんなご要望を一挙に解決！これからは…

フロアトップアクアプライマー ハエレオ



圧倒的な密着力！

水性でも速乾

屋外のクリヤー仕上げに！

「ハエレオ」とはラテン語で「くっつく」「存続する」を意味します。
“フロアトップアクアプライマー ハエレオ”は、水性二液型でありながら、一般に存在する基材に対して優れた付着性を示すことはもとより、下地の状態に応じて添加剤を加えることにより対応できる幅をさらに広げました。また、多くのフロアトップ製品の上塗りを可能にした画期的な製品です。



特長

1. 幅広い種類の下地に付着

強化コンクリートや表面強化材を施したコンクリートに付着するうえ、塩ビ床タイルへの塗装にも使用できます。添加剤の選択により適応できる下地の種類はさらに広がります。※ワックス面は不可。

2. 塗り替えに最適

ほとんどの塗膜に付着するため既存塗膜の塗り替えに最適です。とくに、付着の難しいウレタン系既存塗膜にも強力に付着します。

3. 乾燥が速いので作業時間を短縮できます

コンクリート用は気温 23℃で 2 時間後、低温 5℃でも 8 時間後には上塗り可能です。

4. 安全性に優れています

水性で無鉛・危険物非該当・有機則・特化則非該当、厚生労働省指定 13 物質・文部科学省指定 6 物質非含有。また、防毒マスクを使用しなくても塗装が可能※で、一般倉庫で保管できます。※上塗りが水性塗料の場合

5. 上塗りを選びません

水性塗料はもちろん、溶剤タイプを上塗りできます。さらに、無黄変なので屋外でクリヤー仕上げが可能です。

適応基材

種類	付着性	種類	付着性	種類	付着性	
普通コンクリート	既設・屋内コンクリート	○	御影石	○	カラートタン●	○
	新設・外部コンクリート●	○	ガラス	○	ボンデ鋼板●	○
強化コンクリート	カラコン	○	アクリル板	×	ガルバリウム鋼板●	○
	フェロコン	○	コンパネ・合板	○	スレート●	○
既設アスファルト ※1	○	ステンレス	○	ケイカル●	○	
表面強化材 (ケイ酸系) ※2	○	アルミニウム	○	※1 基材が既設アスファルトの場合、上塗りにはフロアトップ #1000 速乾、フロアトップアクア フォルティスをご使用ください。		
硬質塩ビ板	○	ブリキ板	○	※2 表面強化材、Pタイル、磁器タイルは種類があります。事前の付着テストで適応できるかご確認ください		
Pタイル ※2	○	鉄●	○	注) 添加剤の種類により適応基材は異なります。		
磁器タイル ※2	○	黒皮鋼板●	○	●には浸透添加剤を、●には防錆添加剤を加えてください。		
タイル (磁器質、せつ器質、陶器質)	○	トタン●	○	注) 床以外の特殊用途は当社にお問い合わせください。		

既存塗膜と上塗り適応塗料

	製品名	既存塗膜	上塗り適応
水性アクリル	フロアトップ #1000 速乾	○ ※2	○
	フロアトップ #1400	○ ※2	○
	フロアトップアクア W #5000 ※1	○ ※2	○
溶剤アクリル	フロアトップ #5000	○ ※2	○
水性エポキシ	水性アトムエポクリーン	○	○
	フロアトップアクアエポ 21	○	○
溶剤エポキシ	フロアトップ #8500	○	○
溶剤エポキシウレタン	フロアトップ #8500 速乾	○	○
無溶剤エポキシ	フロアトップ #8000	○	○
	フロアトップ #8000 耐熱	○	○
	フロアトップエポワン	○	○
	クイックアンダー	○	○
水性ウレタン	アクアクリーンU	○	○
	フロアトップアクアフォルティス	○	○
溶剤ウレタン	フロアトップ #6000	○ ※2	○
	フロアトップ #7000	○	○
	フロアトップマークレス	○	○
無溶剤ウレタン	フロアトップU-#100NEO	○	○

※1 フロアトップアクア W #5000 で使用の際は、プライマー乾燥後、当日中に施工してください。
 ※2 既存塗膜が一液型の場合は、溶剤系塗料を上塗りすると塗装時にチヂミが発生する場合があります。上塗りには水性塗料または無溶剤系塗料をご使用ください。
 注) MMA、ビニルエステル、FRP等、表面にワックスが存在する塗膜には塗装できません。(成型FRPには塗装できます)

攪拌方法 (攪拌機がないときの混ぜ方)

- 硬化剤に半分程度の水を加え、よく振って乳化させます。
- 乳化した硬化剤を主剤に加えます。
- ①と②を混ぜ、容器を逆さまにして30回以上よく振ります。
- 添加剤を加える場合は、③の後で再度フタを開けて添加剤を入れ、フタをしてから容器を逆さまにして、よく振ってください。防錆添加剤は粘度が高いため、ヘラ等で容器から全量取り出して混合してください。

上塗り可能時間および可使用時間

施工温度	5℃	15℃	25℃	35℃
上塗り可能時間	8時間	4時間	2時間	1時間
可使用時間	4時間	2時間	1時間	0.5時間

荷姿・適応基材・塗布量・塗装面積

●ハエレオ 5.5 kgセット (主剤 5 kg・硬化剤 0.5 kg) / 2.2 kgセット (主剤 2 kg・硬化剤 0.2 kg)



5.5 kgセット

2.2 kgセット

吸い込みのある基材

- 適応基材: 既設および屋内コンクリート
- 塗布量: 0.1 kg/m²
- 塗装面積: 5.5 kgセット / 55 m²
2.2 kgセット / 22 m²
- ※アスファルト
塗布量: 0.11 kg/m²
塗装面積: 5.5 kgセット / 50 m²
2.2 kgセット / 20 m²

吸い込みのない基材

- 適応基材: 既存塗膜、強化コンクリート、浸透性表面強化材、タイル、石材、非鉄金属、メッキ、プラスチック等、吸い込みのない面
- 塗布量: 0.04 kg/m²
- 塗装面積: 5.5 kgセット / 137 m²
2.2 kgセット / 55 m²

●浸透添加剤 2.0 kg (5.5 kgセット用) 0.8 kg (2.2 kgセット用)



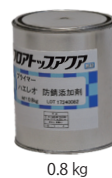
2.0 kg

0.8 kg

- 適応基材: 新設および外部コンクリート、風化・劣化したコンクリート、スレート、ケイカル等
- 塗布量: 0.1 kg/m²
- 塗装面積: 5.5 kgセット+2.0kg / 75 m²
2.2 kgセット+0.8kg / 30 m²

●防錆添加剤 0.8 kg (2.2 kg用セット用)

※5.5kgセット用はご用意しておりません。



0.8 kg

- 適応基材: 鉄、黒皮鋼板、メッキの剥がれた鋼板等
- 塗布量: 0.08 kg/m²
- 塗装面積: 2.2 kgセット+0.8kg / 37 m²

施工仕様例

1. 既設および屋内コンクリート面

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23°C)
1 下地処理	施工仕様書をご参照ください。				
2 プライマー	アクアプライマー ハエレオ	-	-	0.10	2以上
3 上塗り	上塗り適正材料を参照 各種製品の仕様による				

2. 既存塗膜の塗り替え

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23°C)
1 下地処理	施工仕様書をご参照ください。				
2 プライマー	アクアプライマー ハエレオ	-	-	0.04	2以上
3 上塗り	上塗り適正材料を参照 各種製品の仕様による				

3. 強化コンクリート・タイル・浸透性表面強化材・石材・非鉄金属面

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23°C)
1 下地処理	施工仕様書をご参照ください。				
2 プライマー	アクアプライマー ハエレオ	-	-	0.04	2以上
3 上塗り	上塗り適正材料を参照 各種製品の仕様による				

色

無色 (クリヤー)

※防錆添加剤を添加した場合は、白色半透明の塗膜色になります。

4. 新設および外部、または風化・劣化したコンクリート面

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23°C)
1 下地処理	施工仕様書をご参照ください。				
2 プライマー	アクアプライマー ハエレオ + 浸透添加剤	-	-	0.10	2以上
3 上塗り	上塗り適正材料を参照 各種製品の仕様による				

5. 鉄面

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23°C)
1 下地処理	施工仕様書をご参照ください。				
2 プライマー	アクアプライマー ハエレオ + 防錆添加剤	-	-	0.08	2以上
3 上塗り	上塗り適正材料を参照 各種製品の仕様による				

6. 既設アスファルト面

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23°C)
1 下地処理	施工仕様書をご参照ください。				
2 プライマー	アクアプライマー ハエレオ	-	-	0.11	2以上
3 上塗り	上塗り適正材料を参照 各種製品の仕様による				

■注意事項■

1. 塗装 (施工) 前の注意

- 5°C未満の場合には、塗装を避けてください。
- 降雨・降雪・高湿・高温時およびその恐れがある場合には、塗装を避けてください。
- 下地処理は、塗料の付着力を決定する重要な工程です。施工仕様書等をよくお読みの上、十分に注意して行ってください。下地のレイタンス、エフロレッセンス等、脆弱層は必ず取り除いてください。
- 下地の状況や塗り方により、塗布量が増減します。

2. 塗装 (施工) 中の注意

- 下地が濡れている場合には、十分に乾燥させてから次の工程に着手してください。
- プライマーの乾燥後、時間を開け過ぎると、上塗り塗料との付着力が低下します。必ず同一日に上塗りしてください。
- 塗装中は、換気をよくし、火気の取扱いは厳禁としてください。
- 二液型塗料の計量・混合・攪拌は、はかりおよび電動攪拌機を用いて行い、可長時間 (ポットライフ) にも充分注意して塗装してください。
- 可長時間を超えた材料の使用は物性を著しく低下させますので、使用しないでください。
- 小分けする場合は、必ず小分けする前に十分に攪拌し、均一にしてから行ってください。
- 周辺での火気、スパーク、高温物は使用しないでください。
- 静電気対策のため、使用する装置等は接地し、電気機器類は防爆型 (安全増型) を使用してください。
- タンク内部の密閉場所で作業する場合には、密閉場所、特に底部まで十分に換気出来る装置を取り付けてください。
- 常に乾燥状態を確認してから次の工程に入ってください。
- クリヤー仕様を行う場合、塗り忘れに注意してください。しっかりと材料が塗布されないと、雨水の浸透で黒く染みようになります。
- 吸い込みがない面への塗装の場合、短毛ローラーで塗布してください。厚く塗布すると乾燥の遅れや塗料のヨリが起きます。

3. 塗装 (施工) 後の注意

- 湿度の高いとき、気温の低いときは乾燥が遅れる場合があります。
- 乾燥状態を確認してから次の工程に入ってください。
- 塗装用具等を洗浄した水等を、河川や湖沼へ流したりしないようご注意ください。

- 直射日光が当たり高温となる場所や、凍結する恐れのある場所を避けて保管してください。

4. 塗装面別の注意

- 新設コンクリートは最低4週間以上の養生が必要です。下地コンクリートに水分が多い場合は塗装を避けてください。塗装前に下地面にポリシート (1m以上) を張り付け、翌日、下地面が黒くなったり、ポリシート内面に水滴の付着がないことを確認した後塗装してください。(ケット水分計HI-520で測定した場合の水分量がモードで700以下、チャンネル4で5%以下を目安とする)
- 既存塗膜面の塗り替えは、既存塗膜の除去が必要かを確認し、除去しない場合は、事前に当社までご相談ください。
- 表面が油で汚れている場合やワックス処理されている場合は、付着性が悪くなりますので、事前に当社までご相談ください。
- ワックスやシリコン等が下地に残っている場合は、乾燥の遅れや上塗りに支障の出る事がありますので、事前に当社までご相談ください。

5. もしもの場合

- 皮膚に付着した場合は、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診断を受けてください。
- 眼に入った場合は、多量の水で洗ったあと、また誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。

6. 全般的注意

- 製品ご使用の際には、当販促物の他、製品本体記載の注意事項およびSDS (安全データシート)・施工仕様書をよくお読みください。
- 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- 改良等のため、①製品の身中、仕様 ②販促物の内容等は将来予告なしに変更する場合があります。
- 当販促物に表示してあります塗り面積、工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。塗装の際の諸条件によって増減する場合があります。
- 製品本体および当販促物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。またご使用方法等につきましてご不明な点がございましたら、必ず使用前に当社までお問い合わせください。

アトミクス株式会社 塗料事業部

〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6

TEL.03-3969-3125(直通) FAX.03-3968-7300

<https://www.atomix.co.jp/>

検索

フロアトップアクア

ご用命は：